



小浜西組町並み協議会 25年度 第3回役員会報告

日時：平成26年1月27日（月）19：30～
場所：町並み保存資料館

開会宣言

本日は寒いところありがとうございました。今年初めての役員会です。昨年末に時間が取れず、今になりましたこと、お詫びいたします。

本年は役員改選の年ですので、役員の皆様にはいろいろとお世話になりますが、何卒よろしくお願いいたします。

1 小浜市より

（館課長）

本年もよろしくお願いいたします。協議会にご協力いただきました西組の写真パネルを酔月の二階にて展示しております。これから街路整備にかかって参りますが、住民の思いにかなうよう、精一杯努力して参ります。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

（松澤氏）

来年度の補助事業は、新たに伝統的建造物として特定した主屋2件を含め、修理を6件実施します。区別では飛鳥2件、大原3件、鹿島1件です。

その他、酔月でも耐震工事を行う予定です。工事中は地区の皆様にご協力をお願いいたします。

なお、修理修景事業で建築業者の方が施主の場合は、設計監理者は必ず別の方に依頼してください。請負工事に関する入札業者としては、施主が建築業者であっても参加していただいて結構です。

来年度も景観形成助成事業を実施する予定です。4月から5月にかけて、事業利用の募集を行うため、利用を希望される方は、提出に向けて、見積書、設計図書を準備してください。なお、補助率は、平成26年度は本年度同様1/2補助を行う予定です。

2 協議事項

（1）第31回地域づくり団体全国研修交流会福井大会の報告

小浜・熊川地区は第五分科会ということで、24人の方に来訪いただき、西組散策のあと、常高寺で事例を発表し、次の日は熊川へ行きました。

参加者からは「おもてなし」の心が現れていて、本当によかったとご感想をいただ

きました。

(2) 小浜市観光まちづくり計画の件

三丁町を中心とする電線の地下埋設などについて、先日飛鳥、香取の両区で説明会がありました。その中で自宅への引き込み、宅内配線などの工事費の負担が発生することや、家の前にチャンネル0に使用する電源等の機器収容箱などが設置される懸念について話し合われました。住民のご理解とご協力がないと、せっかく予算がついてもどんどん遅れていきますので、そうならないように対処しなければなりません。

(3) 第36回全国伝統的建造物群保存地区協議会総会での事例発表の件

本年5月22日に、熊川宿で行われます。会場はパレア若狭です。平日の木曜日ですが、20分程度お話をしなければなりません。大田会計と桂田事務局長が担当してお話しすることとなりました。

(4) 26年度総会、役員改選の件

本年は役員改選の年になっておりますので、3月末までに各区区長から委員さんを選んでいただき、4月初めの役員会で決定し、総会にて役員の承認をいただくという手はずで行います。ぜひ、来年も協議会に残っていただいて、一緒に活動できたらと思います。

(5) 各委員会報告

広報委員会：町並み月報、頑張っています。仲間をたくさん集めることが大切だと伺いましたので、それを目標にやっています。もしお手伝いいただける方がいらっしゃったら、ぜひよろしくをお願いします。

環境整備委員会：現在、環境整備のワーキンググループに傾注しています。よい方向性が示されるよう頑張っています。

地域活性化委員会：芸術文化活動推進事業が3カ年の事業期間を終えました。3月に「着物de三味線体験」をやって、それが最後です。続けてきた「町家deフェスタ」の予算的裏付けを失いますので、今後継続すべきかを含め、検討をしております。先日も本年の第一回委員会を開いて、委員の皆様ともいろいろ話し合いました。

建築委員会：ベンガラ格子修理体験会を開きました。村松さんのご指導のもと、昨年の公園側から、本年は海側のより目立つ部分を修理しました。また、2月21日の金曜日に兵庫県建築士会の皆さんが「先進的なまちづくり」の事例として、西組を訪問されます。13:00から散策、14:30からシンポジウム、18:00から懇親会を行います。多くは地元の建築士会で対応しますが、住民の方々もよろしかったらご参加下さい。

町家改修の仕様書につきましては、京都の作事組を参考にたたき台を作成しております。皆様のご議論をよろしくお願いします。

また、通過車両の抑制看板を昨年設置し、心なしか通過車両が減少したようにも思います。皆様のご感想はいかがでしょうか？

事務局：空家対策として、3件の売却に携わりました。ベンガラ格子がともる町を目指して引き続きがんばります。

その他：協議会とは直接関係ありませんが、11月の土曜日の夜に「町家de祝言」と題して花嫁行列を行いました。松崎市長はじめ住民の方々がたくさん出ていただいて、新郎新婦も大変喜んでおりました。ありがとうございました。





観光まちづくり計画及び 三丁町の電線地中化に関する 説明会行なわれる

平成26年1月21日（火）午後7時30分から庚申堂にて、香取区と飛鳥区の全世帯を対象に説明会が行なわれ、区長様をはじめ約20名が参加しました。

市の都市整備課から「観光まちづくり計画の概要(先導プロジェクト)」と「三丁町の電線地中化」について、電力事業者と協議の結果作成した地中化図面（案）の説明がありました。

地元の方からでた質問および意見は次のようでした。

観光まちづくり計画について

* 寺町通り（庚申堂の前の通り）は整備しないのか。通りには時宗のお寺があり、観光客にも珍しいものだと言ってもらえる。

⇒ (市) 今回の5年での整備計画には入っていない。将来的な考えのご意見としてお聞きしておきたい。

電線地中化（案）について

* 嶋田さん宅横の新設柱予定だが、道巾が狭く宅配車がよく通るので、道の広い公園側に移動できないか。

* 山側の突き当たりの道は、全て地中化できないのか。

⇒ (市) 三丁町から山側を見た時に電線が見える部分のみを地中化の範囲として指定している。

* 常然寺前の関電地上機器を目立たなく置ける方法を考えてほしい。向きを90度変えるとか、石碑の裏に設置するとか、内藤さん側の隅に設置する、たる井さん横のペDESTALボックスのとなりに設置するなど。

* 地中化に付随して、各家で工事等の対応をしないといけないということはあるのか。また費用の負担はあるのか。



⇒ (市) 電線が地中から上がってくるので、隣との境目あたりで引き込みをすることになると思うが、それが従来の引き込み箇所と変わる場合は宅内で配線工事が必要となる。また昔の資料をみると、宅内の配線工事については個人負担でお願いしている。

* もともとはソフト地中化で計画しており宅内配線工事については不要であった。街路整備や電線地中化についても、市が重伝建に指定したために作った保存計画案や防災計画に記載されている整備計画であり、地元の要望ではない。個人の負担が発生することがないようにしてもらいたい。

* 引き込みをするために塀などを一部壊す場合、つぎはぎの見た目では格好悪いので全体をつくり直す事も考えられるが、そんな費用は市でもってもらえないのか。

* 今日の説明会に来ていない（地上機器を設置する予定箇所の）地主もいるため、この場での説明だけで先へ進めるのではなく、地主には直接依頼してもらいたい。

⇒ (市) 直接地主に説明させていただくことについては、了解しました。本日説明した図面はあくまで案であり、まずは地元の意見を聞きたいという目的である。

その他

* 三丁町の人が一番望んでいるのは融雪装置の設置である。去年三丁町で雪が降った際、市役所に頼んだが誰も来てくれなかった。三丁町の景観整備をしたいというのであれば、電話があればすぐに飛んでくるくらいの気持ちが必要ではないのか。

* 修景事業により建物の外壁は火に弱くなる。本来は消火栓が先に設置されているべきだと思うので、今回の事業で消火栓の設置についてもしっかり計画してもらいたい。

⇒ (市) 消火栓を設置するためには事前に水道をひいておく必要があるので、設計の段階から消火栓についても合わせて計画していく。

小浜西組町並み協議会からの

●お知らせ●

■ 広報委員会より

町並み月報に地域住民が自由に投稿できるコーナーを設けます。内容は町並み保存に関すること、町並み月報に関する感想、意見、それ以外の事、感じたこと、嬉しいこと、悩みこと等、何でも結構です。どしどし協議会までお寄せください。（町並み保存資料館ポストへ投函）

■ 町並み保存資料館企画委員会より

雛人形展を開催中です。
ぜひ遊びにお越し下さい。

3月14日（金）まで（火曜日休館日）

